

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.1 * *

着業開始目安は4月末 一部はまもなく適正サイズに

— 島牧沖の漁期前調査結果 —

中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

2012年4月19日午後6～9時に、西島牧海域においてコウナゴ分布調査を実施しました。白糸岬沖から元町沖にかけての5地点で、集魚灯を用いて、たも網でコウナゴ採集を行いました。この調査は、第八喜久丸中山雄一さん、島牧漁協及び島牧村役場の方々と共同で実施しました。調査にご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

漁期前半に漁獲対象となる群は現在16～17mm 一部は既に20～23mmに成長

調査日の海況は良好で、5調査点のうち4点で多くのコウナゴ標本を採集することができました。調査時の表面水温は平均8.8℃でした。

下図は、調査で得られた採集物を測定して得られた体長組成です。体長組成には例年と同じように、ふ化時期の異なる群で作られたいくつかの“山”がみられました。体長20～23mmサイズにある群は、ほぼ漁獲適正サイズ(22-23mm)に達していますが、いずれの調査点においても体長16mm前後にある群の採集尾数が最も多くなりました。一日の成長量を0.7mmとしますと、この体長16mm前後の群が適正サイズに達するには、あと8～10日程度を要することになります。したがって、既に適正サイズに達している群を対象にすれば来週早々にも着業可能な段階にあります。本格的な漁期開始時期としては、主群が適正サイズに達する4月末頃が目安になると考えられます。

また、今回の調査では体長10mm台前半や8mm前後にある群も確認できました。これらが順調に成長し漁獲サイズに達すると、5月中旬頃に盛漁期をむかえることになると考えられます。

今年も、漁獲物標本の組成から、漁模様や終漁時期の見通しについても情報発信する予定ですので、ご協力よろしくお願ひします。

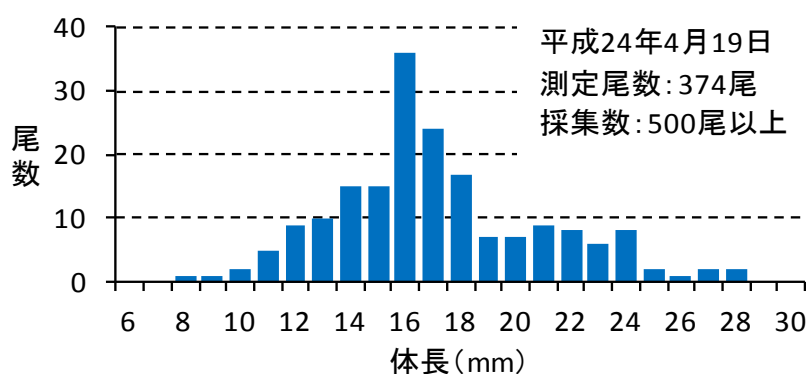


図 調査で得られた標本の体長組成